



シリーズ201

高めよう！ 人権意識

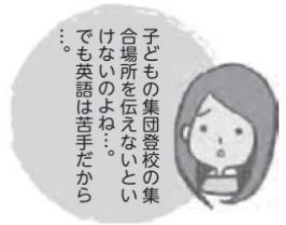
心のかけ橋

関人権推進課
(☎928-1006)

「やさしい日本語」で
会話してみませんか？

皆さんは市内に外国人市民が何人
くらい暮らしているかを知っていま
すか？

現在53カ国約7,300人が暮らし
ています。この数は年々増えていて、
日常生活でも外国人市民と接する機
会が、今後ますます増えてくること
でしょう。接する中では、「言葉がわ



「やさしい日本語」の出番です。

「からないし...」
「むいやって
コミュニケーション
ションをとれ
ばいいのかわ
らない」など、
戸惑うことが
出てくるかも

笑顔で相手を見て話すことは世界共通！

- 外国語で無理して話さず、言葉をやさしく言い換えてみましょう
- ・無料です。 → お金はいりません。0円です。
 - ・避難してください。 → 逃げてください。
 - ・雨天の場合は翌週に順延します。 → 雨のときはしません。そのときは〇〇日にします。(日にちを言う)
 - ・お子さん、何年生だっけ？ → 子どもは何年生ですか？
 - ・ご記入いただけますか？ → 書いてください。
 - ・必ずご覧ください。 → 大切です。必ず見てください。 など

「コミュニケーションをとるために
やさしい日本語とは、もともと災
害情報を「迅速に」「正確に」「簡潔
に」被災した外国人市民に伝えるた
めに考えられたものです。言葉をや
さしく言い換えるだけでいいのです。

高めあつ人権感覚 確かな未来

関市民相談課 (☎928・1050)

国や地域によって文化や習慣は異
なります。その違いを認め合い、地
域社会の仲間として一緒に生活して
いける「多文化共生」のまちづくり
を進めていきましょう。
みんなが生き生きと暮らせるよう
やさしい日本語を使って、勇気をもつ
て積極的に「コミュニケーションをとつ
てみましょう。それがお互いのこと
を理解する第一歩となるはずです。
今年には市制施行100周年です。
多くの記念イベントも予定されてい
て、外国人市民と接する機会もたく
さんあります。みんなで祝い合いた
いですね。

誰もが暮らしやすいまちをめざして

まずは、身近にいる外
国人市民から気軽に
話しかけてみよう。



そして何より「笑顔で相手の顔を見
てゆっくり話すこと」が大切です。